



ワインレッドに染まる家



子どもたちが成人し、長年返済してきた住宅ローンもようやく終えた。ひとつの節目を迎え、この先の人生を自由に楽しもうと考えたとき、K様が決心したのは「人生で二度目の家づくり」でした。終の棲家を積極的に楽しむ、K様の家づくりを伺いました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.95



K様ご家族／ご夫婦と娘さん2人
建設地／岡谷市長地 営業／大池真穂
竣工／H29年9月 I C／奥村瑠美
敷地面積／66.27坪 プランナー／三澤かおり
延床面積／49.34坪 施工／赤羽和樹

ご主人 玄関脇の土間サロンは、お客様を気兼ねなく通せて重宝しています。仕事関係の来客も多いですが、土間は居心地が良く打合せもはかどるような気がします。来る人が皆家に興味を示すので、展示場パンフを常備して、来る人来る人に紹介していますよ(笑)

奥様 私は仕事で帰りが遅いことが多いですが、角を曲がって我が家の灯かりを見ると、一日の疲れが癒されるようでホッとします。窓から漏れる光のあたたかさ、昔の家ではなかった新鮮な感覚。この家を建てて良かったなあと感じる瞬間です。



娘さんが選んだ赤のキッチンがキーカラー。背面収納は一部が可動式の作業台で、皆で料理するときにも重宝。



玄関ポーチと合わせた大きなガレージが外観に表情を加える。



座椅子、ダイニングチェア、キッチンと、差し色のワインレッドがスパイスの大人の空間。



ご家族それぞれに居心地のいい場所を設けながら、皆が集まるリビングにはK様らしい明るいメインカラーの"赤"をベースにコーディネートしました。

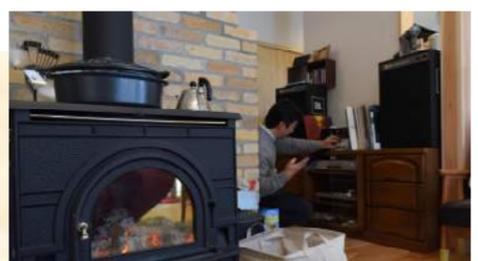
担当 奥村瑠美

Focus on the Owner!!

音楽好きのご主人は、真空管アンプでレコードを日常的に楽しまれており、取材日も山口百恵やサザンが家じゅうに響きました。珪藻土壁は、その無数の穴で音の反響が抑えられ、音がキレイに響くという効果も！



住まいのそこかしこにくつろぎの居場所が。個々の時間にもつながり合える空間は、大人の暮らしにも心地良い。



家づくりのきっかけを教えてください！

奥様 昔の家はとにかく隙間風が寒かったですね。自分たちがこだわって建てた家ではないので、さほど愛着もなく、不満ばかりが溜まっていました。土地も国道沿いで狭く、車が通るたびに家が揺れるような場所で、土地自体への不満もありました。

ご主人 その家は私が20代半ばで購入した中古住宅で、住宅ローンをやっと完済したところでした。30年間払い続けた住宅ローンでしたが...いざ終わってみると、物足りなさを感じるようになったのが正直な気持ち。今度は自分の思いを込めた納得の家づくりをしたい、そうすればローンという張り合いがまたできて、仕事も余暇ももっと楽しめると思ったのです。

奥様 住宅展示場へ行ったのは、スタンブラリーで景品がもらえるから、という軽いきっかけでしたが、工房信州の家の考え方にびったり共感できて話が進みました。機械頼みの他社とは一線を画すエアバス工法の仕組みも納得でき、空間を無駄なく使って家族のつながりも感じられる広がり間取りも魅力的でした。家じゅうをルンバに掃除してもらうにも最適ですし(笑)

お住まい心地はいかがですか？

奥様 とにかく、あったかい！この冬は、職場に行くと皆「今朝は寒かったねー」と共感しあっているのに、私は話についていけず困りました(笑)。それと、キッチンの使い勝手がとてもよく、娘が友達を呼んでお菓子作りをしたり、料理の時間を楽しくするようになりました。